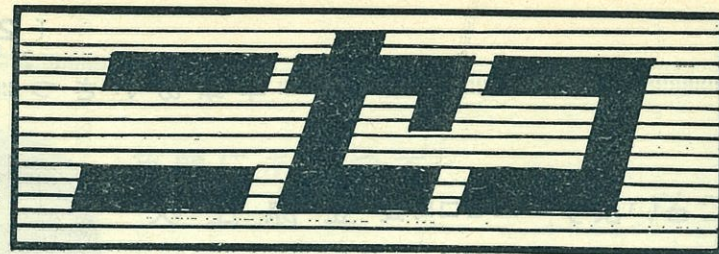


広
報



〔冬 山〕

楽しいスキーのシーズンとなり、お正月の休暇を利用してゲレンデスキーに、ツアースキーにと冬山に向かわれる人が年々ふえてきました。

冬期間の運動不足をこれらのスポーツで鍛えることはたいせつですが、暗い事故をおこしてはなりません。とくに、冬山登山は危険ですから注意しましょう。

自分の技術にあつた登山コースを選び信頼できるリーダーを共にして山の一人歩きは絶対にやめましょう。
事故のない明るく楽しいお正月をみんなで過ごしたいものです。

1968 **1** 新年号 No.98

賀
正





年頭にあたつて

北海道知事

町村 金五

道民のみなさま明けましておめでとうございます。北海道百年という記念すべき昭和43年の新春をみなさまとともにお祝いできますことは、このうえもないよるこびであります。

昨年の本道は、天候が順調であり農業は史上空前の豊作に恵まれ、本道の産業経済は概して好調のうちに推移することができましたことは、まことにありがたいことであります。

本年は、明治の新政府が「エゾ地」を「北海道」と改め

開拓使を設けて、本道の開拓に着手してからちょうど百年という歴史的にまことに意義深い年にあたります。

かりみますと、私どもの父祖がきびしい風雪とたたかい未開の大地にいどんで開拓の斧(おの)をふるつてからわずか百年の間に今日の偉大な北海道が建設されたのであります。いま、私ども五百万道民は、この輝かしい発展を築きあげられた先人の血のにじむ苦闘の跡に、あらためて深く感謝の誠を捧げるとともに、このすぐれた基盤の上に今日の辺陲(へんすう)の地北海道を将来は必ずわが国の枢要の地域に向上発展させるため、伝統ある開拓者精神を振るい起こし協力一致してたくましく前進をつづけなければなりません。

ときあたかも本年は、第二期総合開発計画の6年目にあたるのでありますが、私は、過去5ヶ年間の成果に反省と検討を加え、本道の開発に精魂を傾けて国力の発展と道民生活の向上のために一層の努力を重ねてまいる覚悟であります。

開道二世紀の第1年である昭和43年の年頭にあたつて、道民みなさまのご健闘、ご精進を心からお祈りしてごあいさついたします。

年頭のごあいさつ

管内のみなさん明けましておめでとうございます。希望にあふれる新春をみなさんとともに迎えるにあたり、ご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

ご承知のように昨年は春からの好天に恵まれ、また農家のみなさんのご協力によりまれにみる豊作であつたことは真によろこびにたえないところであります。

本年は、第2期北海道総合開発計画の第6年次にあたりますが、みなさん方のご協力により管内の懸案事業も着実な実績をあげつつありますが、私はこの際、後志開発の飛躍的発展を図るため道路、港湾、治水、土地改良など産業基盤の整備をはかるとともに、農林漁業の構造改善、観光事業の振興を重点として推進してまいりたいと存じます。

また、中小企業の振興、社会福祉の向上、さらに公害対策や交通事故の激増、青少年の健全育成など幾多の重要問題が山積いたしておりますが、この解決を図るため真剣に取り組んでまいる覚悟であります。

本年は、北海道百年という歴史的意義ある年を迎えたわけで

後志支庁長 越智 正六

ありますが、この間、開拓の先人たちが幾多の苦難と風雪に耐え、今日の北海道を築いて来られたのであります。

この先人の偉業をたたえると同時に、私たちが開拓精神を受けつぎ新しい時代に即応する明るい豊かな住みよい郷土を建設するためには、住民のみなさんのご協力なくしてはこの諸問題を解決することは不可能であります。

私も最大の努力を傾注し、職務にまい進いたす覚悟でありますが、よろしくご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

昭和43年の新春を迎えるにあたり郷土の発展とみなさんご多幸を心からお祈りして年頭のごあいさついたします。



謹言賀新年

- ニセコ町社会教育委員 委員長 今井勝彦 委員 本間岩男 岡田増吉 中川清作 高木文雄 二セコ町消防団 団長 藤内善太郎 副団長 沢野喜四郎 二セコ町選挙管理委員会 委員長 前田長太郎 委員 小西善行 藤原賢司 二セコ町固定資産審査委員会 委員 青山勝彦 藤内善太郎 二セコ町民生委員 委員 藤内善太郎 二セコ町農業委員会 委員長 菅原精吉 委員 堀村武雄 野村正人 工藤切貞三 小田徳次郎 山田徳次郎 酒井武雄 大場務局長 三ツ木余造

町民のみなさま

あけましておめでとうございます ニセコ町長 笠原庄次



町民のみなさま、あけましておめでとうございます。希望に満ちた昭和43年の新春をみなさんとともにお祝いできますことは、まことに喜ばしいところであり、町の躍進発展とともに七千町民のしあわせを心からお祈り申し上げるものであります。

かえりみますと昨年は順調な天候とそして農家のみなさんの努力によりまして豊作に恵まれましたよい年であり、また本町の先祖が鍛(くわ)をもち風雪とたたかい、ここに70年を記念するまことに意義深い年でもありました。多年の懸案であつた役場新庁舎の完成、町内国道主要道々舗装の完了、主要町道の改良など数々の公共施設が整えられましたことは、まことに喜ばしいことでございます。

本年は建設中の統合中学校校舎の建築工事、農業構造改善事業の実施、観光開発と施設整備の促進、道路の整備など諸施設整備事業を実施し、住みよきそして明るい町づくりに全力をつくしてまいりたいと考えておりますので町民各位の一層のご協力とご鞭撻をおねがいする次第であります。輝かしい新年、そしてひらけゆく北海道の100年目を迎え私は町勢進展のため与えられた責務に最善をつくすことを誓うとともに、みなさんのご健康とご多幸を心からお祈りして新年のごあいさついたします。

年頭の辞

ニセコ町議会議長

佐藤 初一



みなさん、明けましておめでとうございます。みなさんもお元気で新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

年は、うち続いた冷害凶作の後の豊作で農家のみなさんはもちろん町民全部の大きな喜びであります。

この豊作は自然の気象条件にもよりますが、農家のみなさんと農業指導者が一体となつて農業技術の研究改善に努め

られた成果でありまして重ねて心からお喜びを申し上げ、かつ敬意を表したいと存じます。

国外に眼を転じますと、いつ果てるともないベトナム戦争国内では、一般諸物価の値上りムード、公共料金の値上げ、交通戦争、政治汚職など、連日暗いニュースを見聞させられますことはまことに遺憾に堪えないところであります。

本年は開道100年にあたります。"1年の計は元旦にあり"と申されますが、みなさんも1年間の意義ある計画をお立てのことと存じます。

わたくしは議会人も町民のみなさんが健康で豊かな生活ができ、明るい日々を送ることができるよう決意を新たにして町政の進展に努力いたす所存であります。

みなさんのご健康とご多幸をお祈りして年頭のごあいさつといたします。

謹言賀新年

- ニセコ町役場 町長 笠原庄次 収入役 青山正一 助役 森与一 総務課長 川島哲夫 住民課長 福井正夫 施設課長 菊地哲夫 産業課長 飯原富一 二セコ町議会 議長 佐藤初一 副議長 藤原重一 二セコ町教育委員会 委員長 加賀谷昭二 委員 渡辺慶二 佐藤敏治 浪岡三雄 上野法雄 事務局長 一戸義雄 監査委員(議会) 今井重春 (知識) 原敬三 二セコ町消防団 団長 藤内善太郎 副団長 沢野喜四郎 二セコ町選挙管理委員会 委員長 前田長太郎 委員 小西善行 藤原賢司 二セコ町固定資産審査委員会 委員 青山勝彦 藤内善太郎 二セコ町民生委員 委員 藤内善太郎 二セコ町農業委員会 委員長 菅原精吉 委員 堀村武雄 野村正人 工藤切貞三 小田徳次郎 山田徳次郎 酒井武雄 大場務局長 三ツ木余造

成人おめでとう

一月十五日は「成人の日」、今年成人になれる若い方々はもろろん、ご両親も待ちに待った成人式が近づきました。

新春を迎え、心新たな気持ちの中につつばなおとなとして成人式を迎えられる若い一三四名の方々は、ほんとうに歓喜の心でいっぱいでしょう。

ここに成人となられる方々を紹介するとともに、全町民の心からのお祝いを申し上げます。

- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|------|-------|------|
| 本通一 | 佐藤豊子 | 高木和子 | 森脇敦子 | 本通九 | 日野浦均 | 岡田洋一郎 | 有島三 | 亀田洋子 | 亀田菱也 |
| 本通二 | 沢田キミ子 | 小池良子 | 本通十 | 森恵美子 | 久保向ヨシ子 | 稲見恵子 | 羊蹄一 | 佐藤スミ子 | 沢田英治 |
| 本通三 | 藤本俊子 | 西村留男 | 本通十一 | 伊藤朝三 | 光榮 | 大野ヨネ子 | 共榮 | 大野はるえ | 高橋富雄 |
| 本通四 | 井内利子 | 野崎賢二 | 本通十二 | 辻 説子 | 中央一 | 菊地和子 | 佐藤恭憲 | 渡辺エツ子 | 中央三 |
| 本通五 | 延川 彰 | 大槻泰教 | 本通十三 | 木村弘美 | 中央四 | 柿本 勉 | 中央五 | 藤沢 翠 | 中央六 |
| 本通六 | 若山正義 | 鈴木順公 | 本通十四 | 新保セイ子 | 森下 猛 | 矢橋建雄 | 田畑良子 | 遠藤 寛 | 富士見 |
| 本通七 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通十五 | 不動和子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通八 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通十六 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通九 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通十七 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通十 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通十八 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通十一 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通十九 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通十二 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通二十 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通十三 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通二十一 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通十四 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通二十二 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通十五 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通二十三 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通十六 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通二十四 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通十七 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通二十五 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通十八 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通二十六 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通十九 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通二十七 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通二十 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通二十八 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通二十一 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通二十九 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通二十二 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通三十 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通二十三 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通三十一 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通二十四 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通三十二 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通二十五 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通三十三 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通二十六 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通三十四 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通二十七 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通三十五 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通二十八 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通三十六 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通二十九 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通三十七 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通三十 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通三十八 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通三十一 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通三十九 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通三十二 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通四十 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通三十三 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通四十一 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通三十四 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通四十二 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通三十五 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通四十三 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通三十六 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通四十四 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通三十七 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通四十五 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通三十八 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通四十六 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通三十九 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通四十七 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通四十 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通四十八 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通四十一 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通四十九 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通四十二 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通五十 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通四十三 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通五十一 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通四十四 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通五十二 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通四十五 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通五十三 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通四十六 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通五十四 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通四十七 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通五十五 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通四十八 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通五十六 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通四十九 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通五十七 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通五十 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通五十八 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通五十一 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通五十九 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通五十二 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通六十 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通五十三 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通六十一 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通五十四 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通六十二 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通五十五 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通六十三 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通五十六 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通六十四 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通五十七 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通六十五 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通五十八 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通六十六 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通五十九 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通六十七 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通六十 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通六十八 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通六十一 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通六十九 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通六十二 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通七十 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通六十三 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通七十一 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通六十四 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通七十二 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通六十五 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通七十三 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通六十六 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通七十四 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通六十七 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通七十五 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通六十八 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通七十六 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通六十九 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通七十七 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通七十 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通七十八 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通七十一 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通七十九 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通七十二 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通八十 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通七十三 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通八十一 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通七十四 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通八十二 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通七十五 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通八十三 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通七十六 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通八十四 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通七十七 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通八十五 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通七十八 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通八十六 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通七十九 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通八十七 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通八十 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通八十八 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通八十一 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通八十九 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通八十二 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通九十 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通八十三 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通九十一 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通八十四 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通九十二 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通八十五 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通九十三 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通八十六 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通九十四 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通八十七 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通九十五 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通八十八 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通九十六 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通八十九 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通九十七 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通九十 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通九十八 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通九十一 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通九十九 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |
| 本通九十二 | 伊藤栄子 | 中野武夫 | 本通一百 | 田畑良子 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 | 今井昭彦 | 山森 弘 |

北海道百年

意義深い

にあたって

今年、「えぞ地」が「北海道」に改められ、北海道の開拓行政に力を注がれて百年目、意義深い北海道百年の年です。

「風雪百年、輝く未来」のことばどおり、今日の北海道は、開発という面からみれば、この広い土地と豊富な資源があり、新しい産業を興し、高い生産性を発揮しうる夢多い唯一の地域として注目され、いっそうの開発が進められつつあります。

年を盛り上げる記念事業として、各地で、多彩な行事が、その主なものとして町民のみなさまにお知らせしよう。

○北海道百年記念祝典の挙行
九月二日、札幌市円山陸上競技場において盛大に挙行され、この祝典には両陛下のご臨席を仰ぐようすすめています。

○記念公園の建設
○開拓記念館の建設
○記念塔の建設
○地方記念施設の建設
○スポーツ祭典の開催
○記念植樹の実施
○新北海道の編集刊行
○北海道大博覧会の開催
会期は六月十四日から八月十八日まで。札幌市真駒内公園で開催されます。北海道の産業と開発の歴史にふさわしい催しが開かれるように関係の市、または団体などと協議して計画をすすめています。

したがって私たちは、先人の開拓者精神をうけつぎ、この可能性に富む北海道をいっそう開発し発展させ、道民全部の生活をより向上させるとともに、日本の発展により大きく貢献していくという決意を持たなければなりません。

こうした決意のうえに、北海道百年を記念するのであり、意義ある昭和四十三年とするよう重視するのであります。そして、この北海道百

北海道では昨年、北海道百年の意義を広く道民に周知するため、各種事業を計画しましたが、その一つとして、北海道百年遺跡を全道に二十ヶ所所定されました。そして、この一ヶ所に、有島農場が選定されたのです。これは、北海道百年にゆかりが深く、開拓した先人の偉業を後世に伝えるために意義ある遺跡として選ばれたわけですが、北海道百年遺跡訪問キヤラパン隊が行なわれました。贈呈式には、有島農場の代表者も出席し、記念の標柱に感謝の土を盛りました。建柱場所は、倶知安二七〇国道五号線に向つて左側です。

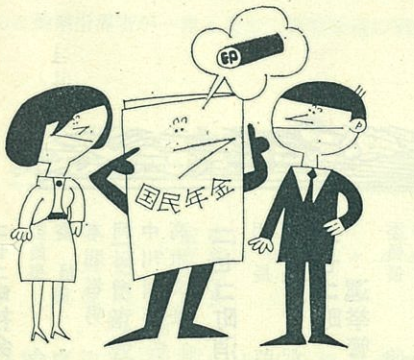


北海道百年遺跡に「有島農場」が選定されました。



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|-------|------|-------|-------|-------|--------|------|-------|--------|-------|----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|----|--------|-------|----|--------|-------|----|------|-------|
| 更新 | 三橋良子 | 小川友子 | 尾の上 | 大立目住子 | 四宮すぎを | 東山 | 和佐田由美子 | 菅原妙子 | 北栄 | 芳賀則雄 | 小島千鶴子 | 黒川 | 山本ヒロ子 | 酒井新一 | 佐藤登美子 | 滝台 | 松田洋子 | 青山哲也 | 東山 | 和佐田由美子 | 菅原妙子 | 北栄 | 芳賀則雄 | 小島千鶴子 | | | | | | |
| 藤山 | 大柳俊幸 | 柴田恵美子 | ふよう会 | 風間良子 | 西山 | 佐竹健次郎 | 高橋律子 | 竹内幸子 | 東山 | 和佐田由美子 | 菅原妙子 | 北栄 | 芳賀則雄 | 小島千鶴子 | 黒川 | 山本ヒロ子 | 酒井新一 | 佐藤登美子 | 滝台 | 松田洋子 | 青山哲也 | 東山 | 和佐田由美子 | 菅原妙子 | 北栄 | 芳賀則雄 | 小島千鶴子 | | | |
| 尾の上 | 大立目住子 | 四宮すぎを | 藤山 | 大柳俊幸 | 柴田恵美子 | ふよう会 | 風間良子 | 西山 | 佐竹健次郎 | 高橋律子 | 竹内幸子 | 東山 | 和佐田由美子 | 菅原妙子 | 北栄 | 芳賀則雄 | 小島千鶴子 | 黒川 | 山本ヒロ子 | 酒井新一 | 佐藤登美子 | 滝台 | 松田洋子 | 青山哲也 | 東山 | 和佐田由美子 | 菅原妙子 | 北栄 | 芳賀則雄 | 小島千鶴子 |
| 尾の上 | 大立目住子 | 四宮すぎを | 藤山 | 大柳俊幸 | 柴田恵美子 | ふよう会 | 風間良子 | 西山 | 佐竹健次郎 | 高橋律子 | 竹内幸子 | 東山 | 和佐田由美子 | 菅原妙子 | 北栄 | 芳賀則雄 | 小島千鶴子 | 黒川 | 山本ヒロ子 | 酒井新一 | 佐藤登美子 | 滝台 | 松田洋子 | 青山哲也 | 東山 | 和佐田由美子 | 菅原妙子 | 北栄 | 芳賀則雄 | 小島千鶴子 |
| 尾の上 | 大立目住子 | 四宮すぎを | 藤山 | 大柳俊幸 | 柴田恵美子 | ふよう会 | 風間良子 | 西山 | 佐竹健次郎 | 高橋律子 | 竹内幸子 | 東山 | 和佐田由美子 | 菅原妙子 | 北栄 | 芳賀則雄 | 小島千鶴子 | 黒川 | 山本ヒロ子 | 酒井新一 | 佐藤登美子 | 滝台 | 松田洋子 | 青山哲也 | 東山 | 和佐田由美子 | 菅原妙子 | 北栄 | 芳賀則雄 | 小島千鶴子 |

国民年金への加入は成人の義務



加入の手続きは簡単、印鑑をもって役場へどうぞ

検察審査会制度を
ご存じですか？

検察審査会制度とは、選挙人名簿をもとにして、選んで選ばれた民間人の代表者、十一人の検察審査員が、検察官のしごとややりかたを審査するための制度です。

詐欺、おどし、交通事故など、犯罪の被害にあつて警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を裁判にかけてくれない、どうも納得できない、こんな不満をもっているかたはいませんか。そういうかたは、そのまま泣き寝入りしないで検察審査会にご相談ください。

検察審査会はこのようなかたがたの声を検察官の仕事のやりかたに反映させ、社会を明るく正しくするために役立つのです。

北海道農業基本調査にご協力を

今年も二月一日現在を以つて実施する北海道農業基本調査の時期になりました。

この調査は北海道農業の実態を明らかにするとともに、今後の農業発展を計る道政の農業施策に必要な基礎資料を整備する目的で実施されるものです。

○調査の対象となる農家
1 経営耕地が十アール(一反)以上の世帯
2 経営耕地が十アール(一反)に満たなくとも過去一ヶ年間の農業生産物(農産物、畜産物)の販売収入が三万円以上あつた世帯

これらの世帯について、各地区の調査が訪問し、調査票への記入を農家のみなさまにお願ひすることになります。

○記入上、特に注意する点
1 所有、借入のいかんにかかわらず、現在自町村で経営している土地はもろろんのこと、他町村にて経営している耕地があればその面積もまとめて記入すること。
2 土地台帳面積あるいは登記面積とまつた関係なく現在経営している面積を記入すること。
▽現在経営している面積(土地)とは次の場合をいう。
・自分の所有している土地
・他人から借りている土地(貸している土地は含まない)
・共有地で分割をして利用している土地
・提防用地や官公有地を継続的に利用している土地
・他町村において経営している土地

3 土地の面積はメートル法により、アールで記入することになつていますが、わからないときは町反畝でもよい。

調査票が配られましたら以上の点によく注意し、調査事項を記入のうえ、指定された期日まで調査員に提出してください。

みなさまから提出された調査票の取り扱いは統計法により、厳重に保管し、個々の調査内容などは、他にももらしたり、不利益にならないようなことは絶対ありませんので、ありのままを正しく記入するようにし、この調査にご協力ください。

統計係

